

「ハッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

平成 23 年 11 月 7 日（月）10:00～12:00

さいたま新都心合同庁舎検査棟

発言者：さいたま 14

名前は、●●●●と申します。住所 さいたま市浦和区●●●●●●●●。所属は、財団法人埼玉県建設業協会でございます。テーマにつきましては、大地震等の災害に備えてで、意見を述べさせていただきます。

毎日、蛇口から水道の水を飲んでいる者として、ハッ場ダムの必要性についてお話をします。私たちの生活には農業用水、水道水の供給が非常に重要でございます。渇水への対応はもちろんですが、大規模地震でも安定的な水の供給が出来るハッ場ダムなどのダムの施設は必要不可欠、いうふうに考えております。ハッ場ダムの検討報告書素案の総合的な評価におきまして、ダム案が最も有利であると示されておりますけれども、当然の結果だというふうに考えています。3月11日の東日本大震災では、未曾有の大災害となりましたが、国や水資源機構が管理する大規模な水源、水資源開発施設の被害報告というのは無かったというふうに考えています。これは事前にしっかりと調査を実施して、日頃から管理をこまめに実施しているという、そういった賜であるというふうに考えております。その東日本大震災でも想定外という言葉が、言葉で備えが甘いという論評がかなり聞かれました。社会基盤施設というのは安全性を想定して構築するのは言うまでもありませんが、考えているものを超える想定外に対応するというのは、費用の問題は非常にそれだけで、費用の問題を避けて通れないということございまして、治水などにつきましては今までの被災例そういうものを前提として整備するというのが一般的というふうに考えております。利根川は相変わらず河川断面が少ない、あるいは堤防の安定性が不足している。流域全体のダムの湛水量も満足しているとは言えません。そういう事の状況を考えてみますとですね、一つ一つの施設を積み上げて安全性を少しでも高めるということが重要だと考えております。ハッ場ダムは既に着工しております。あと少しで完成という状況でありますので、まずは早期に完成させ、治水安全度、利水の安定度を高めるということは最も合理的であるというふうに考えております。今後いつ何時、同様の大規模地震や近年の異常気象による渇水が発生するか分からないという状況となっております。災害が発生しても県民の方々が安心して生活できるよう一日も早くハッ場ダムを完成させるべきというふうに考えています。

結論でございますが、ダム事業の検証作業が行われておりますが、総合的な評価結果を真摯に受け止め、早急に継続という最終判断が為されるよう熱望致します。

以上で私の意見と致します。ご静聴ありがとうございました。